

＜一般委託＞

「没後40年 朝井閑右衛門展」会場施工業務委託（一般委託）仕様書

「没後40年 朝井閑右衛門展」会場施工業務委託に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	「没後40年 朝井閑右衛門展」(会期:令和5年4月22日～6月18日)での作品展示のための会場を設営するとともに、会場誘導のための案内、展覧会告知の看板などを制作、設置を行う。展覧会終了後の撤去業務を含む。
2	履行期間	契約日から令和5年6月25日
3	施行場所	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館
4	業務内容	別紙のとおり
5	特記事項	作業に必要な用具類を持参すること。 作業で発生した残材等の不用品は、請負側の責任において搬出し、処理すること。また作業終了後は、後片付けおよび清掃を行うこと。 作業時間は原則として各日とも9:30～17:30とするが、開館時間外に行なう業務が含まれる(特記仕様書を参照)。 設置・設営位置などの詳細は担当者と打ち合わせの上、決定する。
6	資格要件	本業務履行については、下記の資格を有すること。 平成29年4月1日以降に、公私を問わず美術館において会場面積600㎡以上の美術展の会場施工業務の契約を元請として締結し、完了した実績があること。
7	契約方法	総価による業務委託契約(一般委託)
8	支払方法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
9	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
10	監督員 連絡先	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館 担当:工藤 Tel046-845-1212/Fax046-845-1216

＜指示又は希望事項＞

グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係	<p>・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照)</p> <p>・本市は、独自の環境マネジメントシステム(YES)により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いします。</p>
----------------------------------	---

「没後40年 朝井閑右衛門展」会場施工業務委託特記仕様書

- 1 件名 「没後40年 朝井閑右衛門展」会場施工業務委託
- 2 場所 横須賀美術館
- 3 会期 令和5年4月22日(土)～6月18日(日)

- 4 作業日程 施工(業務1、2) 令和5年4月9日(日)の18時以降または10日(月)9時半まで
 施工(業務3) 令和5年4月14日(金)から18日(火)の間
 納品・設営(業務4～11) 令和5年4月19日(水)
 撤去・原状回復(業務12) 令和5年6月18日(日)の18時以降または19日(月)9時半まで
 撤去・設営・廃棄・壁補修(業務13～15) 令和5年6月21日(水)～23日(金)
 ※いずれも原則として、9時～17時までを作業時間とする。ただし、作業が時間外となる場合は、その費用を見込むこと。

5 業務内容

(寸法はすべてmm表示) 数量

1 屋内看板

1枚

寸法	t10mm、貼付範囲H1000×W2500(展覧会名、会期情報など30文字程度)の切り文字
仕様	エントランスホールの壁に切り文字を貼る。 原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起こし、校正は3回行う)。 色は指定色あり。 会期終了後は撤去し、壁の損傷(ピン穴、接着剤など)について補修を行うこと。

2 入口バナー

1枚

寸法	H700×W2400
仕様	展覧会名と入口を指示するバナーを制作し、美術館正面入口外の庇部分に掲示する。 原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起こし、校正は3回行う)。 屋外用シートの両面にインクジェット出力(4色)。会期中風雨や日光によって変質しないこと。 上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持および取り付けのための既存の角パイプ(20×20)を通せるようにする。 ロープ、結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。(別紙参照)
設営場所	美術館正面入口外の庇部分

3 仮設壁の撤去

寸法	①H3600×W6800×D500(鉄骨+木骨) ②H3000×W9000×D500(鉄骨)
仕様	既存の仮設壁を撤去する。なお、鉄骨やパネルは元の場所に収納し、①のかさ上げ分(H600分の木骨骨組み)は美術館備品の鉄骨、パネルを使用していないため、撤去後は廃棄する。請負側で廃棄費用を見込むこと。
設営場所	展示室1、3(別紙図面参照)

4 展示室引き伸ばし写真

8枚

寸法	インクジェット出力貼り H2500×W2500程度×8枚。
仕様	展示室内の既存壁に拡大した写真(4色)を貼る。会期後は撤去し、壁を塗装して、原状回復する。原稿データは美術館よりデジタルデータで提供する。
設営場所	展示室2、3

5 あいさつパネル

2枚

寸法	H900×W600
仕様	木パネル データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

6 章解説パネル

8枚

寸法	H900×W600
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

7 作品解説パネル

60枚

寸法	H300×W200
仕様	和文30枚+英文30枚 スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

8 作品キャプション(大)

100枚

寸法	H150×W200
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

9 作品キャプション(小)

50枚

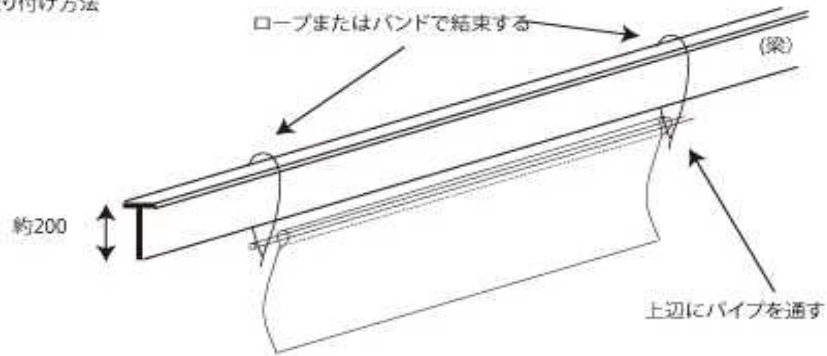
寸法	H100×W150
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。 キャブを立てるための「浮かし」をあわせて用意すること。

10 作品支持台《丘の上》		1台
寸法	H500×W3500×D100	
仕様	木製で500kg/平米の荷重に耐え得ること。 底面と背面を除き、白色に塗装する。天面(3500×100)にはフェルト(白色)を貼ること。 会期終了後は撤去・廃棄する。	
11 展示台		2台
寸法	H300×1辺5000×1辺3500×1辺3500の三角形の台。	
仕様	躯体壁につける置き型の三角形の台。木製で200kg/平米の荷重に耐え得ること。 底面と背面を除き、白色に塗装する。 会期終了後は撤去・廃棄する。	
12 看板類の撤去		1式
内容	業務1、2で設置した屋内看板、入口バナーを撤去する	
仕様	撤去後の壁面は、接着剤汚れ、ピン穴などが見られないように補修すること。	
13 仮設壁の設営(会期終了後)		1式
寸法	③H3000×W6800×D500(鉄骨+木骨)	
仕様	次展覧会の仮設壁を設営する。鉄骨の仮設壁は美術館備品の鉄骨骨組みおよび木製パネル(H3000×W900)を用いること。かさ上げは不要。必要な材料は請負側で用意すること。また、既存壁との接合部分やパネルの継ぎ目が目立たないよう、寒冷紗を貼付し、パテ調整、水性塗料を二度塗りする。使用する塗料は白色(日塗工N-95[日本ペイント・エコフラット・ツヤ消し])とすること。美術館備品の鉄骨骨組みおよび木製パネルの解体方法について不明の場合は、事前に担当者から十分な説明を受けること。	
設営場所	展示室1	
14 物品、制作物の撤去、廃棄		1式
仕様	業務4～11で調達、設置した物品を撤去し、制作した制作物を持ち帰り廃棄する。	
15 壁の補修		1式
仕様	作品を撤去した後の、穴、汚れなどが目立たなくなるよう補修を行う。必要に応じてパテ埋めを行ったうえで塗装すること。該当箇所は約150箇所。補修する箇所は、基本的にクギ穴等が生じた部分であるが、展示期間中に発生した汚れ等も含む。使用する塗料は日本塗装N-95(日本ペイント・N-60・エコフラット・ツヤ消し)とする。	
場所	展示室1・2・3、ギャラリー1・2	
16 その他		
<p>(1) 造作物などに関しては、改善点などある場合は提案し、施工図を提出の上、提案担当者との協議の後制作すること。</p> <p>(2) 展示工作作業監督者(責任者)を指名し作業期間中は作業場所に常駐させること。</p> <p>(3) 作業の範囲は、該当する箇所の造作物の制作、設置と撤去とする。</p> <p>(4) 作業に必要な機械、工具およびワイヤー、養生テープなど資材は全て持参し、搬入すること。</p> <p>(5) 作業期間中は、指定場所以外における火気の使用を禁止する。</p> <p>(6) 検査をおこなう時は、当該検査に立会い、不備な箇所は直ちに手直しを行うこと。</p> <p>(7) 作業に発生した残材等の不要品は、請負側の責任において搬出すること。また、前回展覧会で設営した壁を撤去する際に発生した残材等についても、搬出すること。</p> <p>(8) 作業終了後は、後片付け及び清掃を行うこと。</p> <p>(9) 接着剤は環境対応型のものを使用すること。</p> <p>(10) 現地確認希望の場合は、美術館運営課にFAXで申し込むこと。</p> <p>(11) その他不明な点は、当館担当者の指示によるものとする。</p>		

別紙 入口パナー

- ・パナーを製作し、美術館正面入口外の底部分に設置する。
- ・上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持および取り付けのための角パイプ(20×20、支給)を通すこと。
- ・結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。

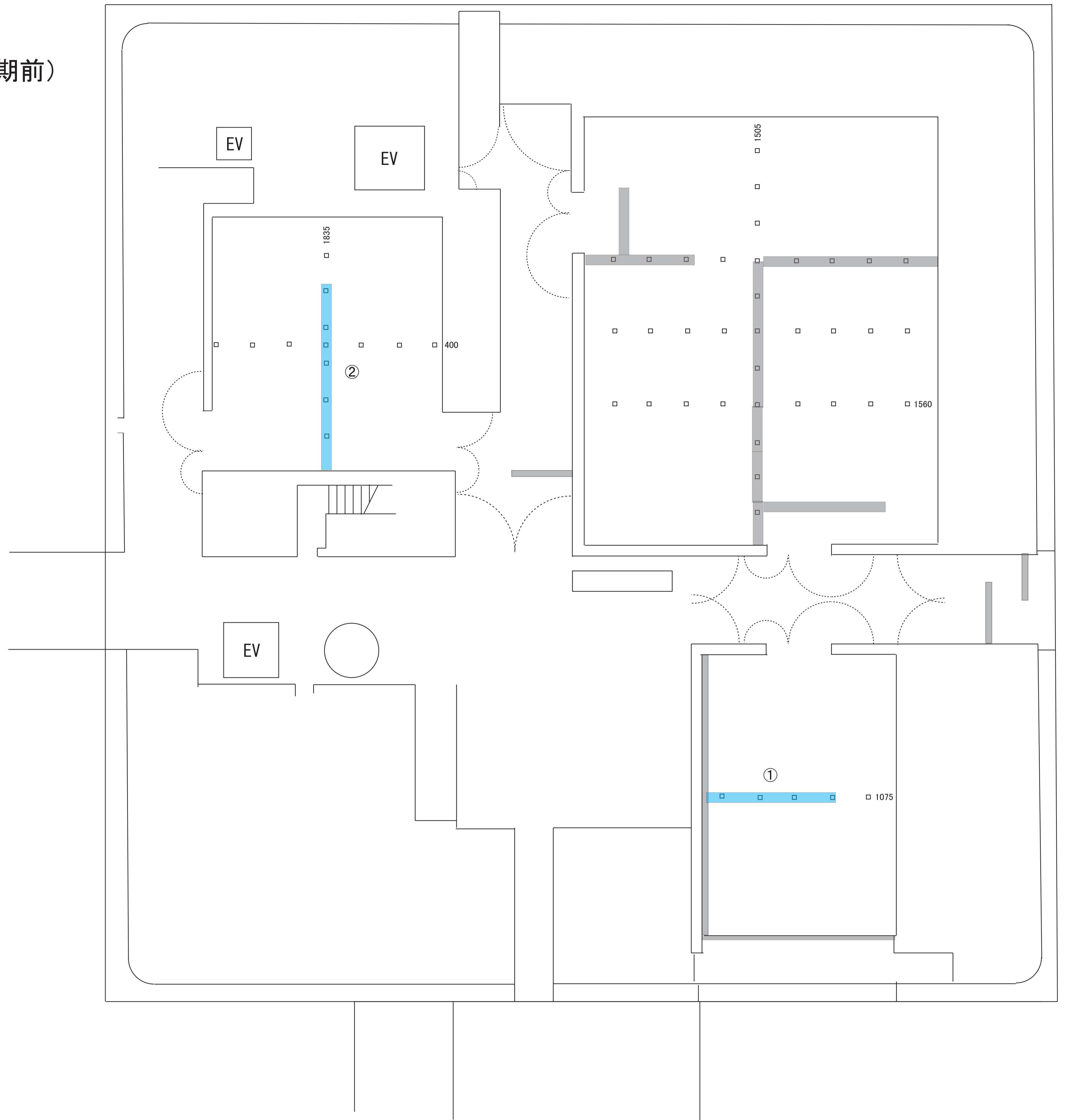
取り付け方法



取り付けイメージ



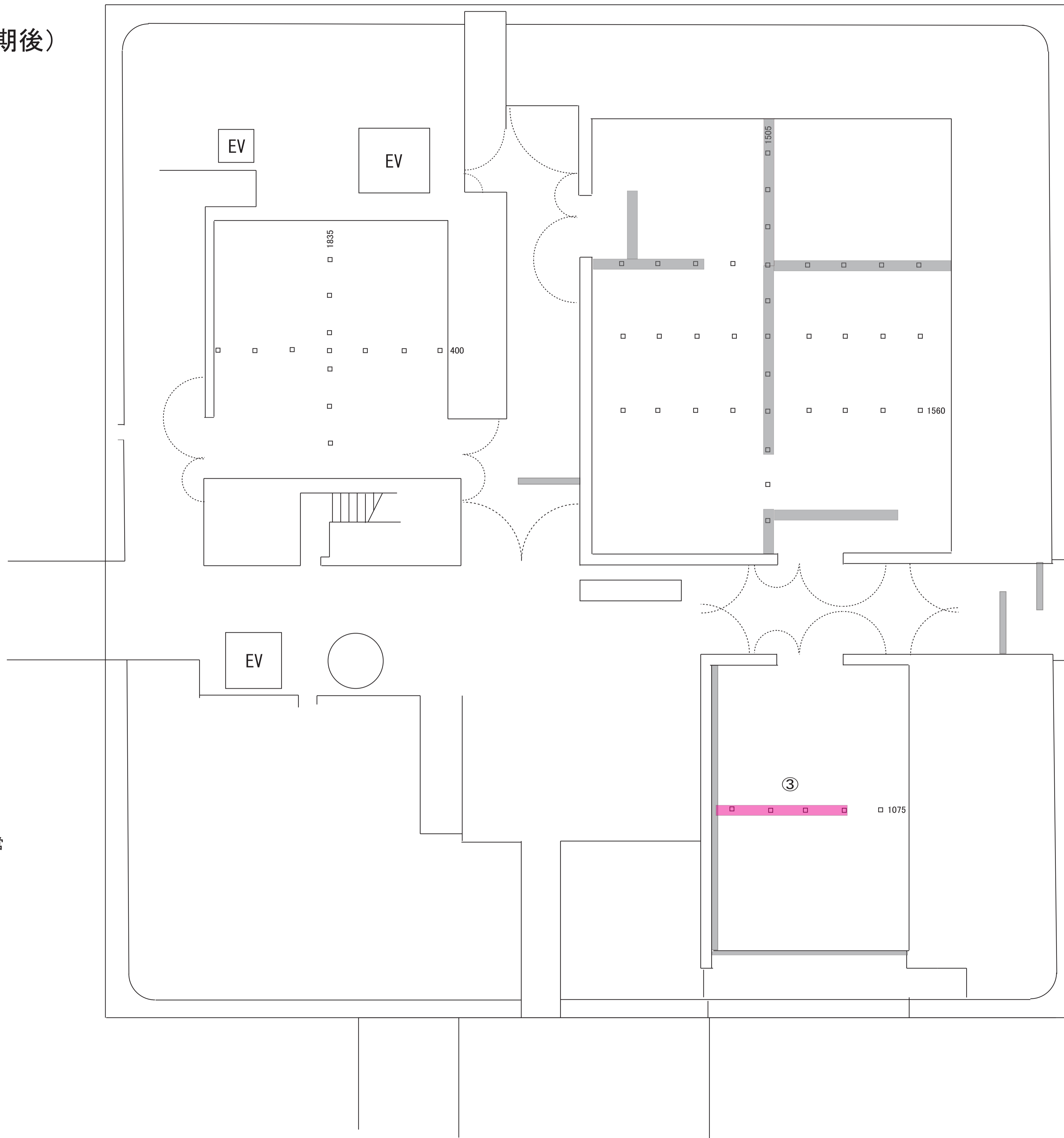
仕様5-3 別紙2
 「朝井閑右衛門展」会場施工図面(会期前)



- 仕様3・既存壁撤去
- ・仮設壁設営
- 既存壁

0 1000mm

「朝井閑右衛門展」会場施工図面(会期後)



-  仕様13・会期終了後設営
-  既存壁

0 1000mm